

事務局資料

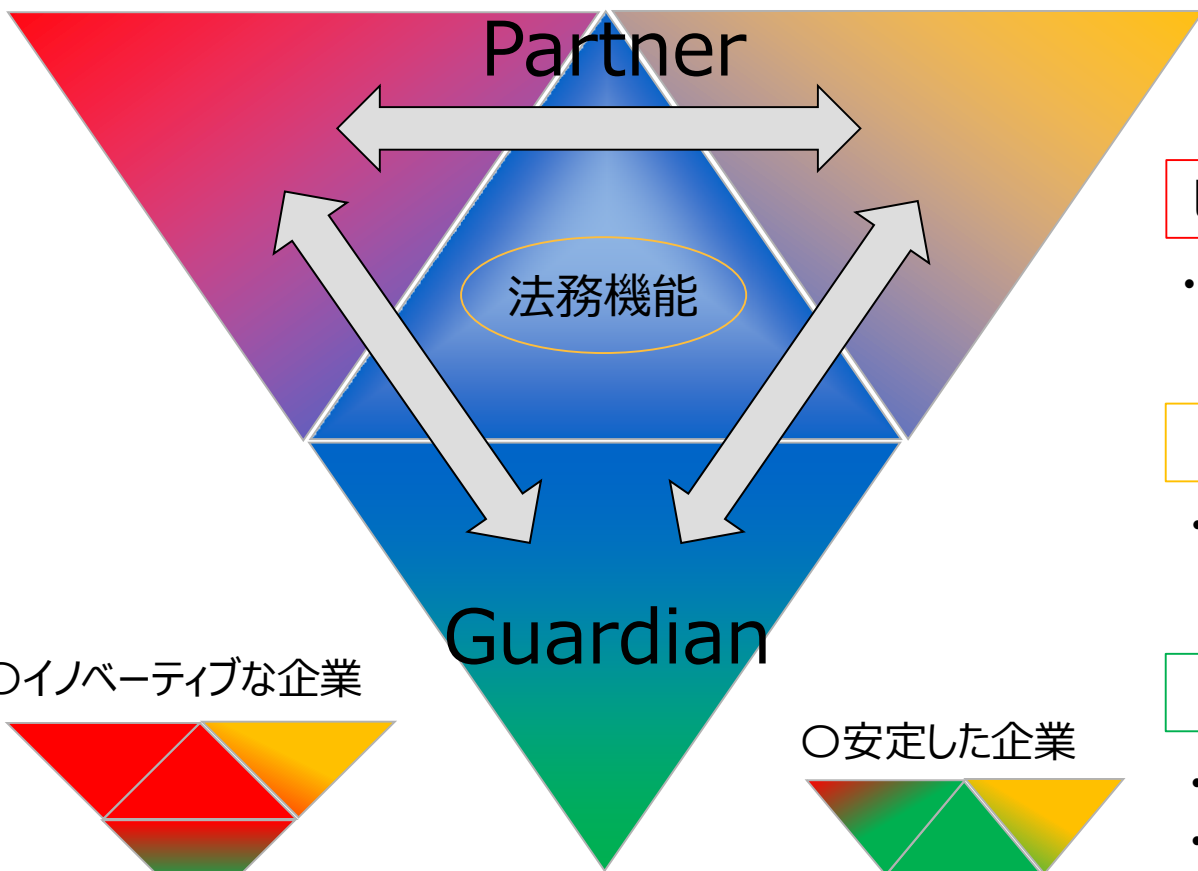
2019年4月
經濟產業省

法務機能の理想像（案）

- 法務機能とは、3つの機能が相互に支えあう関係。
- そのバランスは顧客＝経営が何を旨すか次第。

ビジネスクリエーション

ビジネスナビゲーション



ビジネスクリエーション

- ・現行法と解釈を踏まえて、グレー領域に踏み込むロジックを作ったり、ルール自体を変える。

ビジネスナビゲーション

- ・事業と経営に寄り添い、取り得る選択肢を提案・評価し、経営判断の一要素となる。

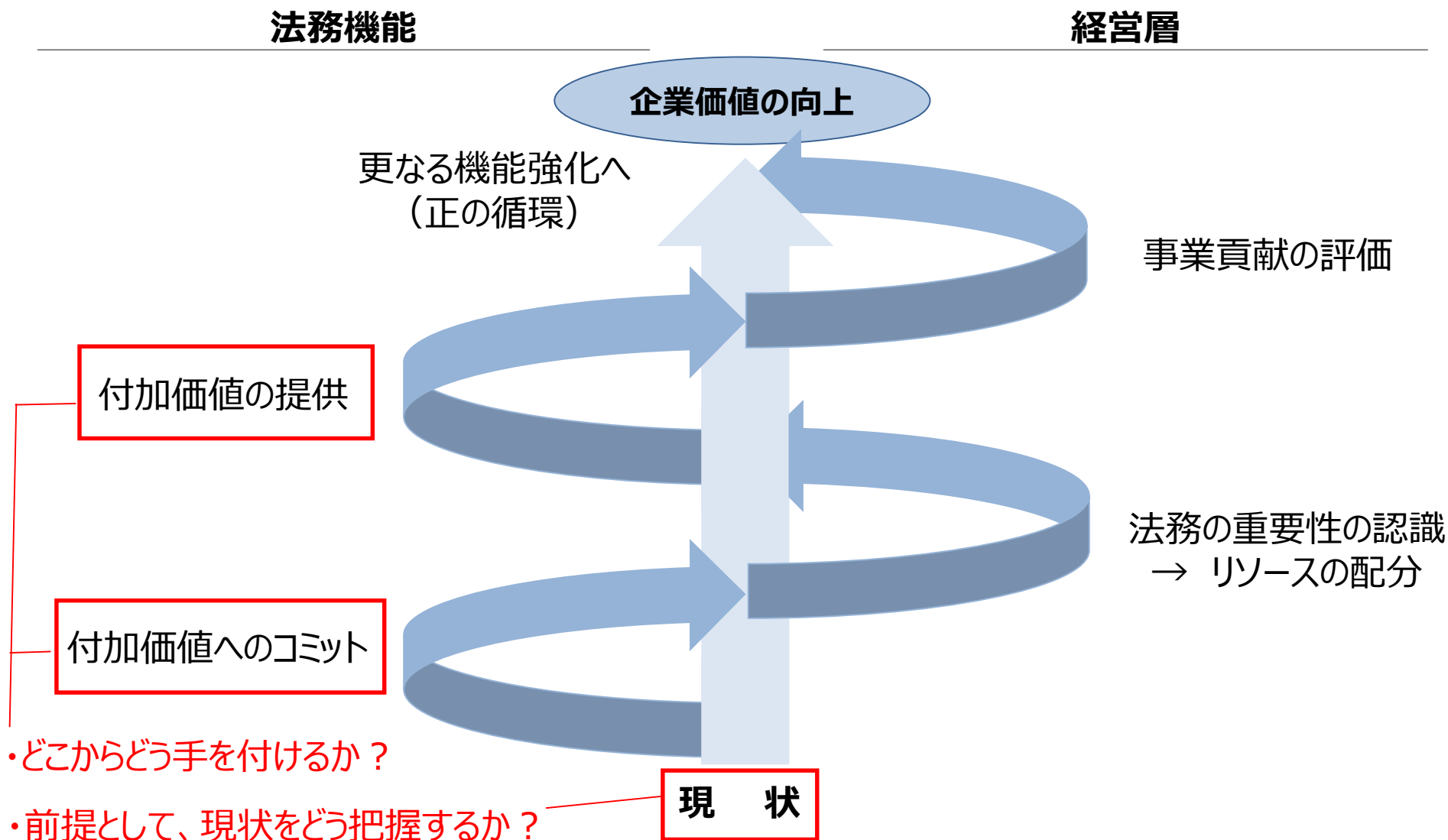
リスク回避

- ・事業リスクを判断し、止めるべきを止める。
- ・危機を最低限のダメージで乗り越える。

リスク回避

健全な成長モデル（案）

- 経営との議論の上で、理想の上でまず法務の側から提供できる付加価値（現在 + a）を示し、それを実現することで、価値向上につながる法務機能強化が果たされる。



(参考) 「焼け太り」モデル

法務機能

経営層

成長？

法務機能の強化
→コンプライアンスの強化
→事業コストの増大…

事業への好影響が見えず、
評価対象とならない
→喉元過ぎれば、単なるコスト

法務の重要性の認識
→リソースの配分

アクセシブル

現 状

→アクセシブル自体は法務機能の強化のきっかけではあるが、（再発防止は当然必須として）再発防止に終始するだけでは、更なる成長につながらない。

(第1回資料より) 法務機能強化 実装WGにおける議論のスコープ

現状・理想像間の

GAP

②理想像

…どのようにあるべきか

③改善策

…どのように解消するか

①現状

…課題や悩みは何か



規模・業態等の特性を考慮して議論